

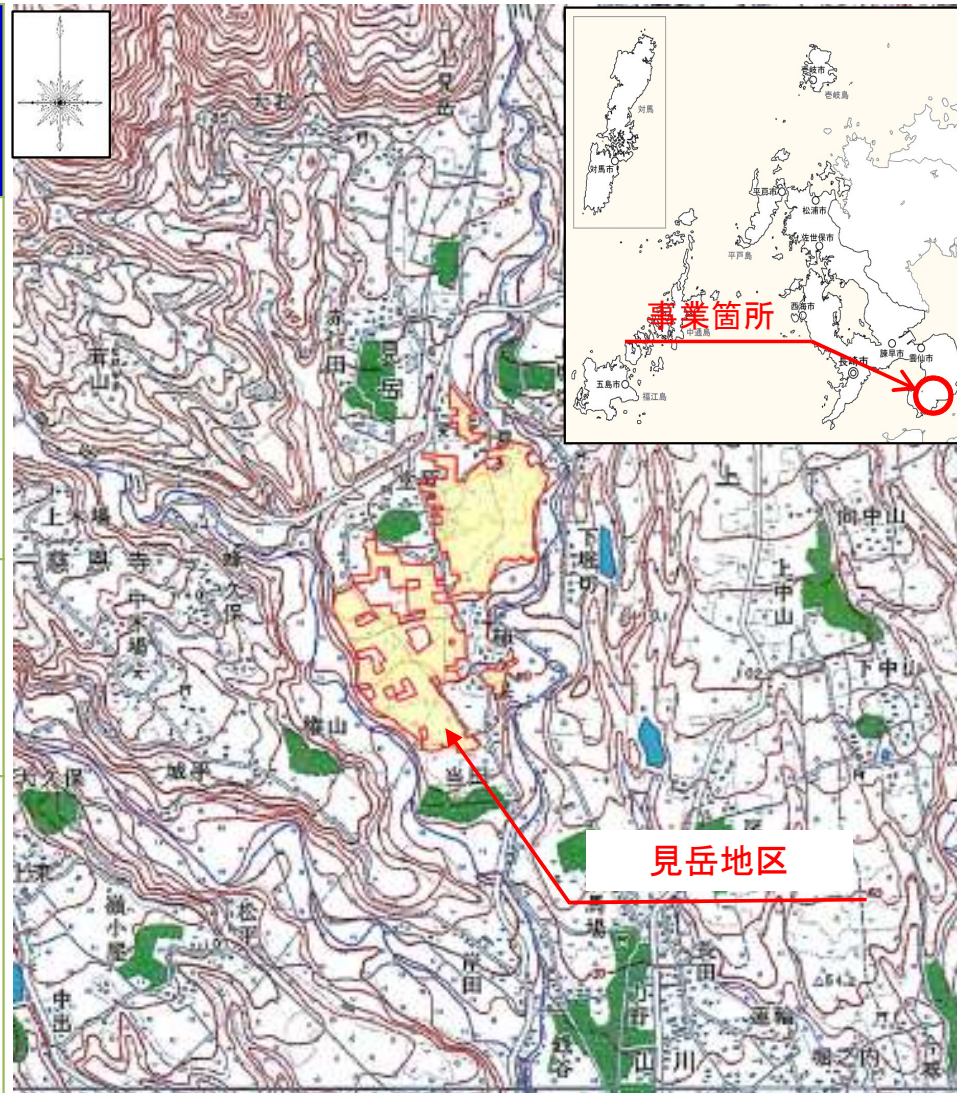
令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

農整－1 水利施設等保全高度化事業
畑地帯総合整備事業
見岳地区

事業主体 長崎県

再評価
の理由 事業採択後10年経過
(事業費・工期)



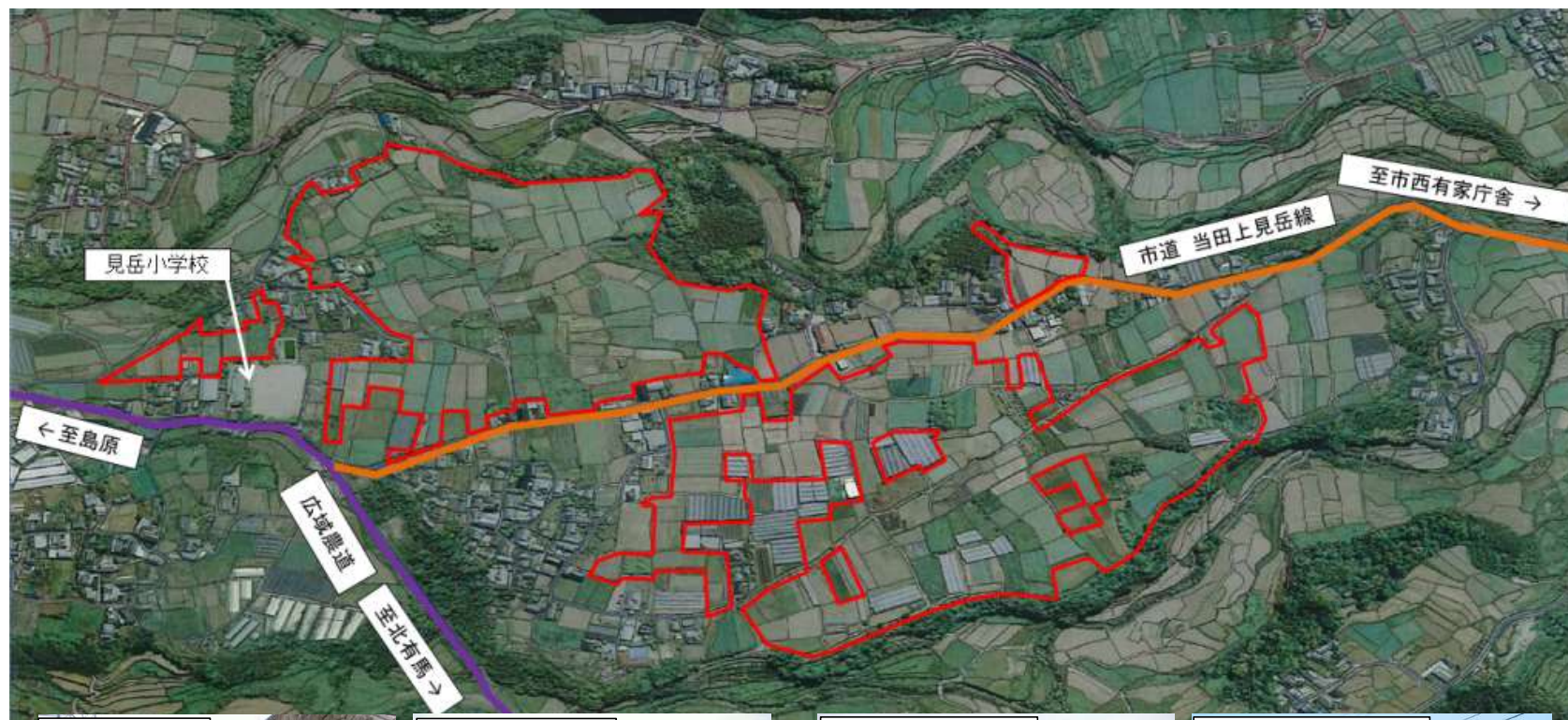
1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H27新規)		H27	R2	6.2	1.14	【工事概要】 区画整理 22.6ha 畑地かんがい 22.6ha
土地改良法 手続き 【第1回 計画変更】 (R1)	【重要な変更】 事業費10% 以上の増減	H27	R6	12.0	1.10	【工事概要】 区画整理 21.0ha 畑地かんがい 21.2ha
土地改良法 手続き 【第2回 計画変更】 (R5)	【重要な変更】 事業費10% 以上の増減	H27	R8	16.5	1.02	【工事概要】 区画整理 21.1ha 畑地かんがい 21.3ha
第1回審議 (R7)	事業採択後 10年経過 (事業費・工期)	H27	R8	16.7	1.02	【工事概要】 区画整理 21.1ha 畑地かんがい 21.3ha

2-1. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆ 目的

区画整理を行い、担い手農家への農地集積による経営規模拡大、畑地かんがい施設を活用した高付加価値作物の栽培等により農業経営の安定化を図る。



2-2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆事業概要

【主要工事】

- ・区画整理 A=21.1ha
- ・畑地かんがい A=21.3ha

【事業工期】

- ・H27～R8

【総事業費】

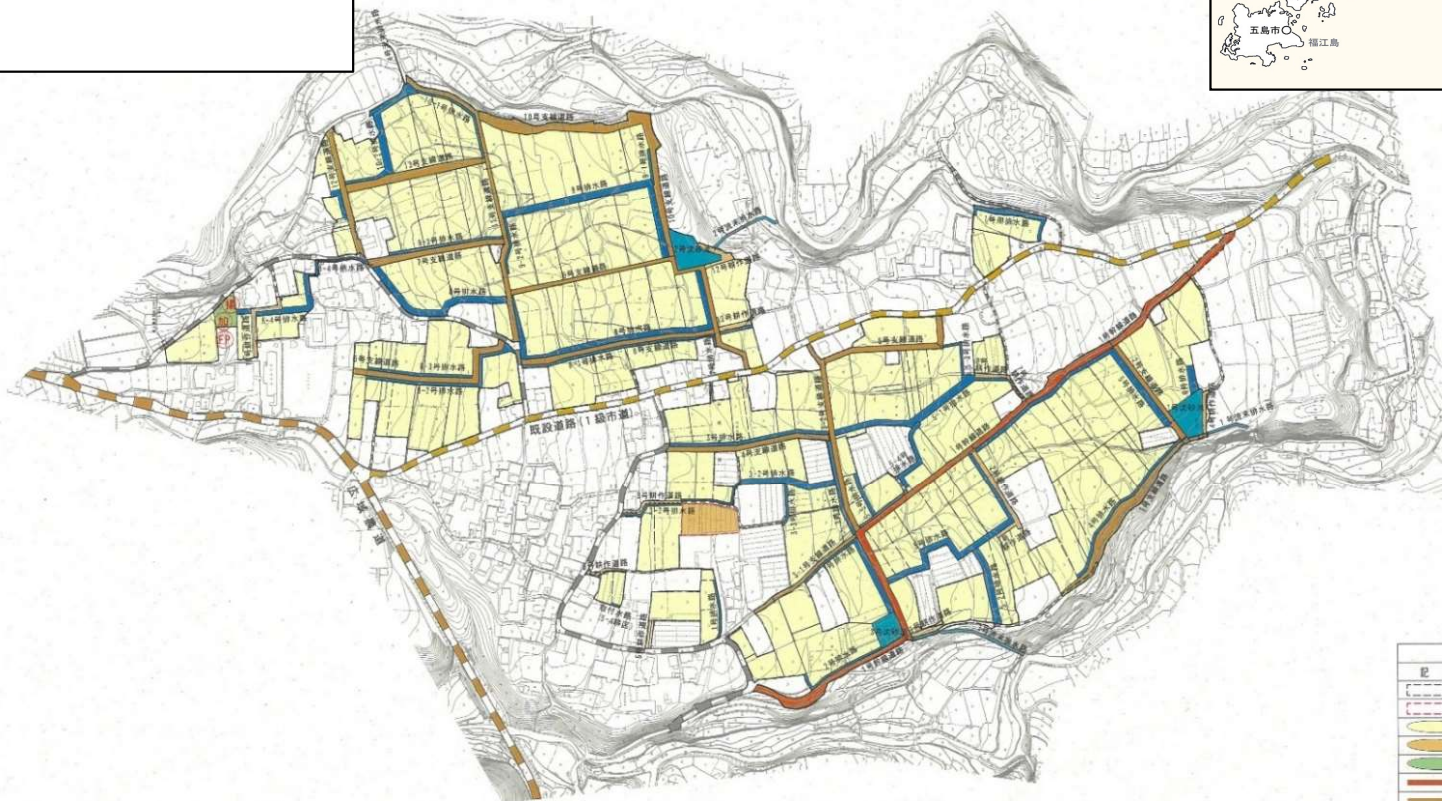
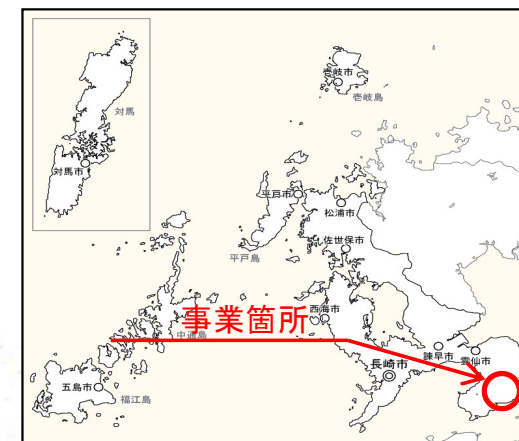
- ・1,674,000千円（R7時点）

◆これまでの経緯

- ・H27 事業採択

- ・H29 工事着手

- ・R6 区画整理完了

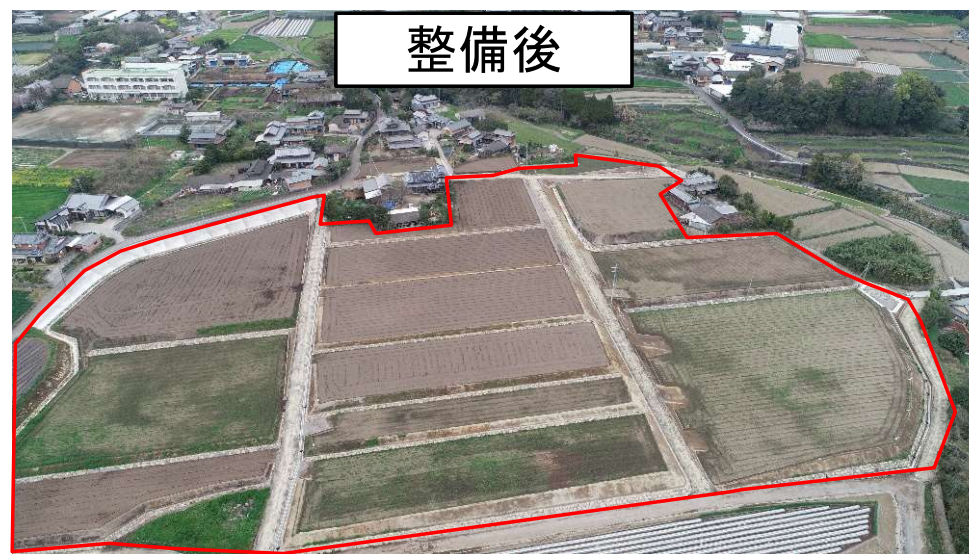
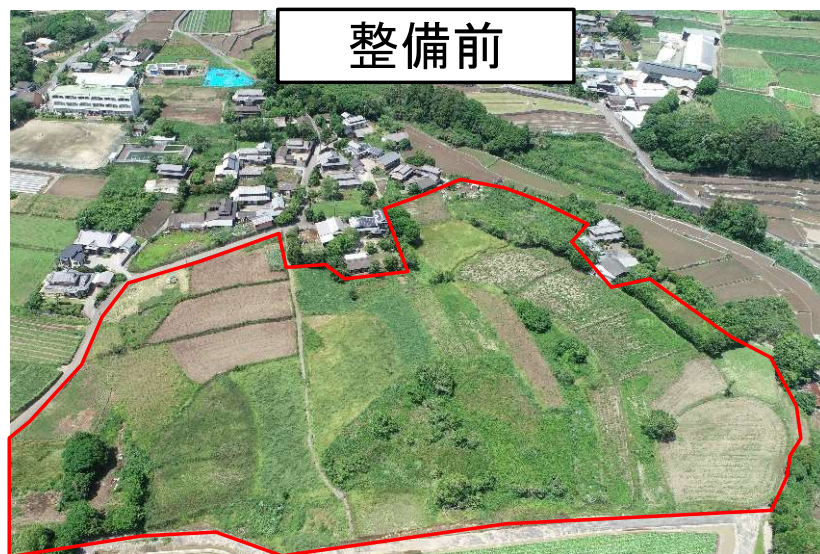


- ・事業進捗率 91%（事業費ベース）

記号	名称
区画整理・農業用水	区画整理・農業用水
農業用水	農業用水
灌漑	灌漑
樹木地	樹木地
非農用地	非農用地
幹線道路	幹線道路
支線道路	支線道路
耕作道	耕作道
排水路	排水路
沈砂池	沈砂池
流水排水路	流水排水路
揚水機場	揚水機場
貯水機場	貯水機場
加圧機場	加圧機場
広域農道	広域農道
既設道路(1級市道)	既設道路(1級市道)
既設道路(2級・その他)	既設道路(2級・その他)

3. 事業の効果・必要性

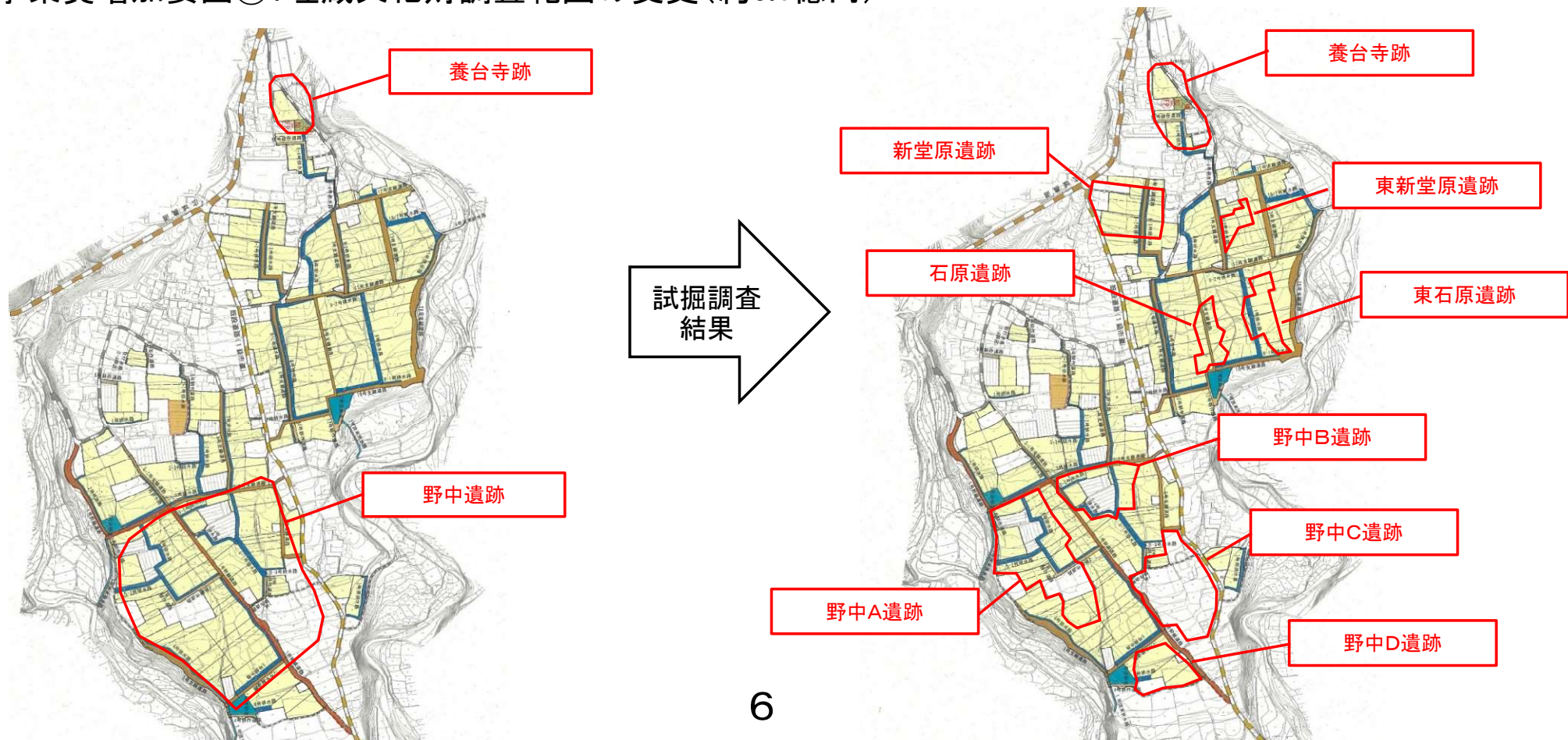
- ①区画整理により農地区画を拡大することで、生産性の向上、生産コストの低減を実現し、農作物の安定供給を図る。
- ②畑地かんがい施設の整備により、収益性の高い作物の導入及び高品質な作物の生産を実現し、農業経営の安定化を図る。
- ③担い手農家を育成し、農地集積による経営規模拡大を図る。



4-1. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

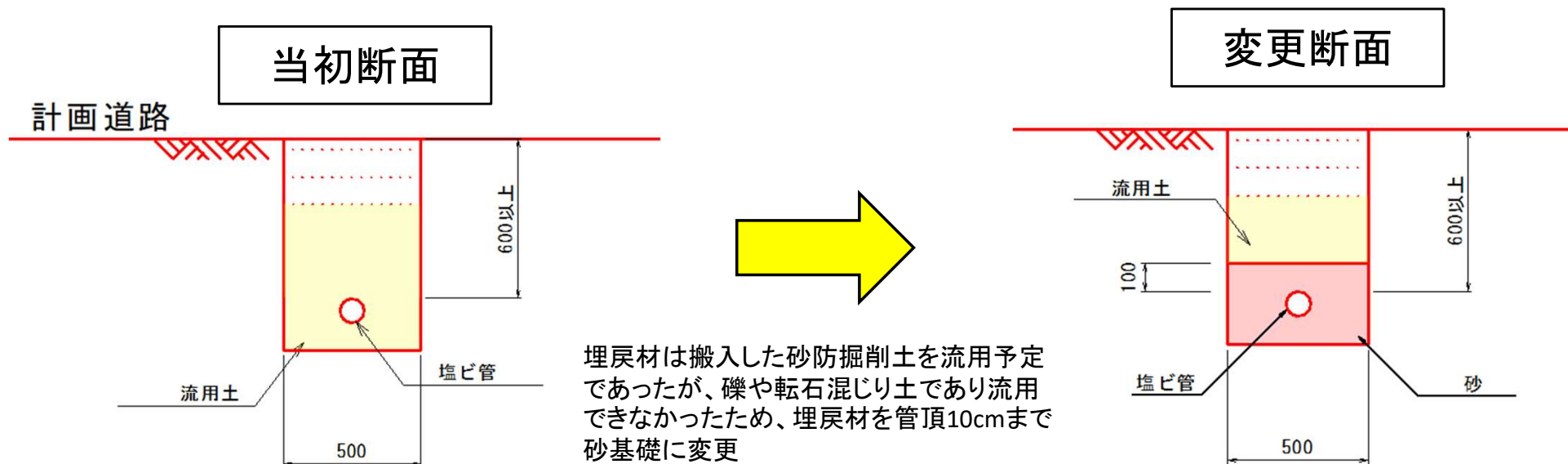
事業費増の内容		増額	主な増額理由
1	埋蔵文化財調査範囲の変更	約6.1億円	試掘調査の結果、文化財調査範囲の拡大及び保護盛土費用の追加
2	埋戻材の変更	約1.0億円	流用土から砂へ変更
3	その他	約3.2億円	労務費や資材単価の価格上昇
計		約10.3億円	

事業費増加要因①: 埋蔵文化財調査範囲の変更(約6.1億円)



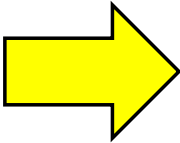
4-1. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増加要因②: 埋戻材の変更(約1.0億円)



4-1. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増加要因③: その他(約3.2億円)

	平成27年度(前回)		令和7年度(今回)	
土木一般世話役	18,800円/人		28,300円/人	約50%増
特殊作業員	16,700円/人		24,600円/人	約47%増
普通作業員	14,400円/人		20,800円/人	約44%増
				
生コンクリート	13,950円/m ³		20,950円/m ³	約50%増
塩ビ管(VP φ100、L=4m)	3,630円/本		5,440円/本	約50%増
軽油	94円/リットル		132円/リットル	約40%増

4-2. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R2(前回)→R8(今回)

・事業区域内の埋蔵文化財区域について、計画時は2遺跡が確認されていたが、試掘調査により遺跡範囲が見直され9遺跡となり、埋蔵文化財区域が拡大したことによる遅延。

前回

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
測量設計						
文化財調査						
区画整理						
畑地かんがい						

今回

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量設計												
文化財調査												
区画整理												
畑地かんがい												

文化財範囲の追加による設計・調査等の遅延及び文化財保護のための保護盛土の追加(約6年)

5. 上位計画への位置付け・関連事業の状況

長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025では、

■柱2. 力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す

基本戦略2-3 環境変化に対応し、一次産業を活性化する

(3) 農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化

②産地の維持拡大に必要な生産基盤の強化

において、「人・農地・産地プランの実現に向けた農地の基盤整備」と記載があり、農地の基盤整備の計画的な推進が位置付けられている。

② 産地の維持拡大に必要な生産基盤の強化

人・農地・産地プラン*の実現に向けた農地の基盤整備、水田の汎用化、農地中間管理事業*の活用等による農地利用集積、荒廃農地の利活用を推進します。

また、森林施業の集約化により生産基盤を強化します。

- 大規模化・省力化を支える生産基盤整備の加速化
- 担い手への農地集積及び森林施業集約化の加速化

指 標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
農地の基盤整備面積	17,361ha (H30年度)	18,224ha (R7年度)
担い手への農地集積面積	19,448ha (H30年度)	21,600ha (R7年度)



基盤整備された農地での効率的な営農



高容量林業機械による作業

6. 社会経済情勢等の変化

- ◆畑地を中心とした農地の基盤整備事業に取り組み、農地を有効利用するため、地域の担い手農家への農地集積を進めている。
- ◆南島原市では、諏訪地区35ha(H24～R2)、空池原地区62ha(H25～R5)が整備され、更に馬場地区30.3ha(R1～)、津波見地区95.0ha(R2～)を整備中であり、整備された農地ではより効率的な農業が営まれている。

○整備された農地



ばれいしょ作付状況



葉たばこ収穫状況



ブロッコリー作付状況

7. 地元等の意向

①受益者・土地改良区

事業による生産性の向上や農業経営の安定、担い手の育成といった事業効果の早期発現を強く切望されており、早期完成の要望が高い。



見岳地区 事業運営委員会状況

②南島原市

近年の高齢化による担い手不足は深刻な問題となっているため、本事業を実施し農作物の生産性の向上を図ることで、担い手の育成や地域の発展が期待できるものとして、事業の早期完成が望まれている。

8. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (平成27年度)	今回評価 (令和7年度)
全事業	1.14 = 7.7億円／6.7億円	1.02 = 23.1億円／22.4億円

〔費用〕

- ・区画整理及び畑地かんがいに要する事業費(工事費、測量設計費)

〔便益〕

- ・作物生産効果、品質向上効果、営農経費節減効果、営農に係る走行経費節減効果、農業労働環境改善効果、国産農産物安定供給効果、文化財の調査に係る効果

〔プラス要因〕

- ・経費節減及び時間短縮効果による経営規模の拡大
- ・費用便益分析マニュアルの改定(プラス側要因)
 - 国産農産物安定供給効果、文化財の調査に係る効果

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増(保護盛土及び文化財調査費の増、工法変更)
- ・工期の延長(文化財調査の追加)

9. 対応方針(原案)

- ◆農地は狭小不整形で道排水路は未整備であり、健全な農業経営を維持していくことが困難な状況となっているため、区画整理及び畑地かんがい施設を総合的に整備することで、担い手への農地集積、機械利用の効率化や作業負担軽減、生産性の向上に加え作物反収増や品質の確保を実現し、農業経営の安定化を図るため、事業を実施している。
- ◆事業進捗率は事業費ベースで約91%[15.3億/16.7億](令和6年度末)で、整備面積ベースでは100%となっている。
- ◆地元の意向として、関係農家及び南島原土地改良区から、事業実施に対する合意形成が図られており、南島原市からも早期完成を望まれている。

